

磐田トライアスロンクラブ

代表者 杉山 悟

加盟人数 18名

トライアスロンの歴史は、30数年前ハワイで15名の参加で水泳（スイム）、自転車（バイク）、マラソン（ラン）の種目を続けて競技する事から始まり、以後その競技の過酷さが話題を呼ぶ様になりました。その後世界中にブームが起り競技人口が増加して、1981年に鳥取県の皆生温泉で日本最初の大会が開催されました。1985年には沖縄県の宮古島での第1回大会をNHKが継続的に1日放映した事に依り国内の認知度が高まった次第です。

以上のようなトライアスロン全体の流れの中で1981年に「磐田トライアスロンクラブ」が産声を上げました。当時磐田市中心のマラソン愛好家らが伊藤英司（旧磐田市議）を会長として10名の仲間クラブを発足させました。ある意味で県内のトライアスロン先駆者達と云えるのではないかと思います。当時の水泳練習は福田の磐南温水プールで練習し、自転車は各人或いは数人で御前崎や春野町往復（80km～100km位）の練習を行い、さらにはランニングと厳しいトレーニングを積み各人それぞれの大会に参加してまいりました。トライアスリートの憧れでありますハワイアイアンマン大会に参加資格を得て当クラブ員3名の選手が出場し、又入賞もして「磐田トライアスロンクラブ」の名を知らしめました。

1989年、事務局を磐田カルチャースイミングセンターに移し、第2期がスタートしました。クラブ員も一時は50名位に達しました。1980年代にはブームが起き日本各地でトライアスロンの大会が開催される様になり、クラブ員も日本だけではなく海外のレースにも参加し活躍してきました。1992年に当クラブも磐南地域のスポーツ活性化、町おこしの一環として微力ではありますが大会を地元竜洋町初めス

ズキ(株)様、体協、竜洋中学校の皆さまのご協力を頂きまして「第1回サンライズ磐田IN竜洋大会」を開催するに至りました。距離はミドルタイプとし参加者は回を追うごとに増加してまいりました。



その2年後にラン・バイク・ランの競技を「第1回フレンドリーデュアスロン竜洋町大会」の競技も開催しました。トライアスリートはもちろん水泳の苦手な選手や、小学生、中学生、高校生も参加出来るフレンドリーな大会としました。この大会ももちろん回を追うことに参加人数は増加してまいりました。

又、当クラブでは練習会とトライアスロン教室を行い、各駅伝大会等にも積極的に参加し、会員の増強に努めてきました。1988年に磐田市の体育協会に加盟し、ますますの活躍をしてまいりました。

2006年には静岡県スポーツフェスティバル「スイム、ラン」の競技を開催し本年も継続いたします。しかし近年トライアスロンブームが下火となり競技を辞めていく人も増え各地の大会も消滅したりと、それまでの熱気が嘘の様な時期に入り大会の参加者も半数以下とクラブ員の減少と大会運営が非常に厳しくなってきました。

2000年シドニーオリンピックでトライアスロン競技が正式種目となり、また本年は新潟国体で公開競技として大会が開催されます。そしてTVのバラエティ番組でトライアスロン競技が放映され一般の関心が強まり飛躍の段階に差し掛かっていると思われます。現に本年の「第16回フレンドリーデュアスロン大会」「第18回サンライズ磐田IN竜洋大会」参加者が昨年を大きく上回っています。後は地道にクラブ員の増強を計り競技者としての技術力と友情と親睦を目指すクラブとしたいと思っています。

又、当クラブは静岡県のトライアスロンの先駆者としての自負が有り、他のクラブよりの強い要望に依り静岡県トライアスロン協会会長が当クラブより選出されています。